

和の光



宝塚市立西谷中学校

才能は「寝ているか起きているか」が問題である。

校長 筒井 啓介

勉強でも、スポーツでも、自分の意志で何かにチャレンジしようとしたときに、急に「自分の才能への不安」を感じたりするものですが、みなさんはどうでしょうか。

ある女性のエッセイストさんが、18歳の時に俳優になりたくて、ニューヨークの大学の演劇科に留学をしました。しかし、勉強をするにつれて、自分の才能への不安、自信喪失に苦しむことになりました。その気持ちを父親に打ち明けました。すると、すぐに返事が返ってきました。

そこには、「才能というものは、ある、ないで判断するものではなく、寝ているか起きているかで判断しなくてはいけないと思います。誰でも、何かの才能はあるのです。そして、その才能を起こしてやるために、人は若い時に勉強をするのです。才能がないと諦めるのは間違いです。才能を起こすのに必要な努力が足りないのだと恥じてください。

ただし、奥底に眠っている才能を起こすためには、体の中に短剣を突き刺す様な修業の仕方が必要です。別の才能を探そうと思っても、薄っぺらなやり方しかできないのなら同じです」といった返事が書かれていたそうです。

みなさんの中には、定期テストが終わった時に答案を見て、「こんなに頑張ったのに点数が思わしくない」とか、「どうせ頑張っても自分には無理だ」と思い込んでいる人がいるのではないのでしょうか。先述の手紙にもあるように、自分は頑張っているつもりでも、うわべのことにこだわって、短剣を突き刺すような努力をしてはいないのではないのでしょうか？

本校には42名の生徒が在籍しています。それぞれに、学力は異なりますが、「自分には才能がない」のではなく、「才能を呼び起こすための努力が足りない」のです。その「努力の差」が「学力の差」として表れているだけなのです。このことを客観的にとらえて、今一度自分の学習に対する取り組みの姿勢を見つめ直してください。みなさんの無限に秘めた才能が引き出されることを心から応援しています。頑張れ、西谷中生!!

■TAKARA っ子造形作品展に出品しました

宝塚市立文化芸術センターで、TAKARA っ子造形作品展が開催されました。この作品展には、市内の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の子どもたちがつくった作品が展示されています。本校からは、美術の授業で作成した絵画・デザイン漢字・粘土でつくった野菜など出品しました。会場に見学に行くと、たくさんの親子連れの観覧者で賑わっていました。どの作品を見ても、個性的で完成度も高く感心しました。目と手を使って作品を仕上げることで、豊かな感性を養ってもらえると嬉しく思います。



デザイン漢字・切り絵



絵画・粘土でつくった野菜

■読書は人を育てる

ICT 機器の発展に伴い、多様な手段で手軽に情報を手に入れることができるようになった影響もあるのか、子どもたちの活字離れが進んでいると言われていています。

令和5年度の学校読書調査（全国学校図書館協議会が実施）によると、令和5年5月の1か月間に読んだ平均読書冊数は、小学生は12.6冊、中学生は5.5冊、高校生は1.9冊でした。また、不読者（令和5年5月の1か月間に読んだ本が0冊の児童生徒）の割合は、小学生は7.0%、中学生は13.1%、高校生は43.5%となっています。

あなたは月平均でどのくらいの本を読んでいますか。文部科学省の調査によると読書量の多い子どもはコミュニケーション能力や礼儀なども高い傾向にあるようです。また、中学生から高校生の時期は、「共感的読書期」という段階に入ります。読書による共感を求めて、自分に合う本を選択します。そして、感銘を受けた本に出会うと繰り返し読むようになります。（登場人物の背景や著者の考えをイメージすることができるようになります）この経験を積むことで、豊かな心が育まれます。この他にも読書にはたくさんの効果（裏面に記載しています）があると言われていています。

物語やノンフィクション、趣味に関するもの、何でも構わないので手軽に手に取って読んでみませんか？本校には立派な図書室があり、司書の先生もおられますので、おすすめの本を紹介してもらうこともできます。多感な中学生の時期にたくさんの本に触れ、豊かな心を育てて欲しいと願っています。



図書室の様子

<読書がもたらす効果>

1. 豊かな人間性が育まれる

物語の登場人物になりきって読み進めたり、著者の生き方に触れたりすることで、日常では体験できないことも、頭の中で経験することができるので、**想像力・創造力も豊かになっていきます**。また、読書では人の気持ちに触れることが多く、他者の気持ちを考えられるようになっていきます。この他、感情を表す言葉を多く習得することで、**自分の思いを周りの人に的確に伝えられるようになっていきます**。

2. ストレスの解消効果が期待される

落ち着いた静かな環境で、習慣づけて読書を行うことによって、**集中力が向上してきます**。また、本の内容に没頭することで、**多大なストレス解消効果があることが実証されています**。イギリスの大学の研究によれば、読書は 68%、音楽を聴く 61%、コーヒータイム 54%、散歩 42%、ゲーム 21%のストレス解消効果が表れたそうです。

3. 「学力」の向上につながる

読書を行うことによって、大脳が活性化され、神経回路が育まれていきます。また、**語彙力が向上し、表現も豊かになります**。疑問を抱きながら読書することで、**自分の意見を持つ習慣にもつながっていきます**。この他にも、**毎月6～10冊程度の本を読むと学力向上につながるというデータもあります**。

■ 仲間とともに学ぶことの楽しさ

中学校では、各教科の学習はそれぞれの担当教員から学ぶこととなります。授業の様子を覗いてみると、子どもたちはどの教科も真剣に取り組んでおり、常々子どもたちの前向きな姿勢には感心しています。そのような中、走ったり、歌ったり、ものを作ったり、といった時には子どもたちの目に輝きを感じることも多いです。この学校通信でも子どもたちがどのような学びをしているのか、できるだけ保護者の皆様にもお伝えしたいと思います。

今回は技術・家庭科の授業を紹介します。1年生では、ペン立てを作っています。素材は木材・金属などで、それぞれの素材にあった加工法を学び、金属の丸棒にネジを切ったり、木材を切断したりしながら作業を進めています。2年生では、災害時に活用できるラジオを作っています。トランジスター、抵抗器、コンデンサーといった電子部品を基板に半田付けして作業を進めています。どの学年もそうですが、図面を読み、班の仲間と相談しながら楽しく作業が進んでいます。完成した作品は一生の宝物になることと思います。



ネジ切り作業(1年生)



半田付け作業(2年生)

2023年度(令和5年度) 2月行事予定表 宝塚市立西谷中学校

日 曜	行 事	
1 木	1年生家庭学習	
2 金	オープンスクール(～8日)	
3 土		
4 日		
5 月	ノ一部活デー	
6 火	専門委員会	ノ一部活デー
7 水	スクールカウンセラー来校日	
8 木	生徒朝礼	
9 金	あいさつ運動	
10 土	私立高校入試(～一部11日)	
11 日	建国記念の日	
12 月	振替休日	
13 火	新入生制服採寸	考査前部活動停止(～21日)
14 水	スクールカウンセラー来校日	
15 木	公立高校推薦・特色選抜(～一部16日)	
16 金		
17 土		
18 日		
19 月		
20 火	学年末考査(～22日)	給食なし 公立高校推薦・特色選抜合格発表
21 水		スクールカウンセラー来校日
22 木		
23 金	天皇誕生日	
24 土		
25 日		
26 月	ノ一部活デー	
27 火		
28 水	2年生校外学習	スクールカウンセラー来校日
29 木		

<3月予定>

専門委員会(1日) 生徒朝礼(5日) あいさつ運動(6日) 3年給食最終日(11日)
 公立高校学力検査(12日～一部13日) 卒業証書授与式・新入生物品販売(14日)
 学年末2者懇談(15日～19日) 給食最終日・公立高校合格発表(19日) 大掃除(22日)
 修業式(25日) 春季休業(26日～4月7日)